

# 消化管検査を受けられる方へ

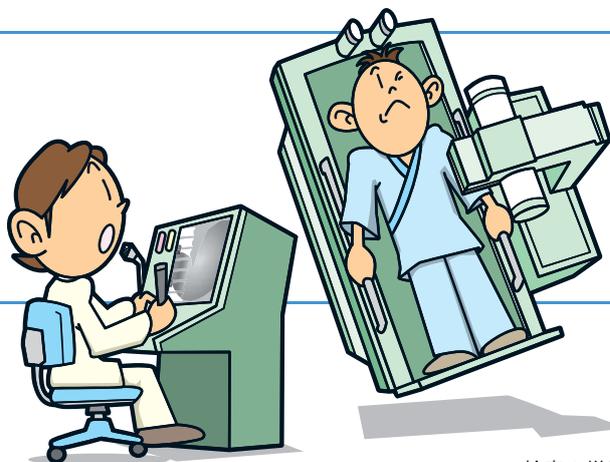
画像診断・エックス線診断/写真診断および撮影、造影剤注入手技

## 消化管検査とは

・消化管検査は食道と胃、十二指腸を検査する上部消化管検査（胃透視）と大腸の入り口から肛門近くの直腸までを検査する下部消化管検査（注腸）に分けられます。どちらの検査でも造影剤（バリウム）を胃や腸の壁に付着させ、空気を入れることで風船のようにふくらませた腸の内側の壁のこまかい状態を観察し撮影します。

## 消化管検査にかかる時間

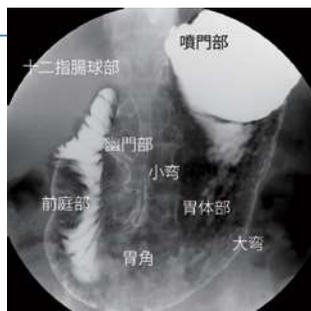
・胃や腸の形や位置は人によって大きく異なりますので検査時間も個人差があります。上部消化管検査（胃透視）では通常検査が始まると10～15分程度で終了します。また、下部消化管検査（注腸）は15～20分程度で終了する場合がありますが、場合によっては長い時間かかる場合もあります。



検査の様子

## 消化管検査の注意点

- ・上部消化管検査（胃透視）では炭酸ガスを大量に発生させる粒を飲んでいただきますので、ゲップ、咳等がしますが良い検査のために我慢してください。下部消化管検査（注腸）ではカテーテルと呼ばれる管を肛門より数センチ挿入します。カテーテルから空気を入れるので「オナラ（ガス）」がしますが、我慢していただきますようお願いいたします。
- ・上部消化管検査（胃透視）、下部消化管検査（注腸）ともに専用の服に着替えていただきますので、当日は着替えやすい服装でお越しください。



### 禁忌事項:

✓ 消化管穿孔があるといわれている方は禁忌です。また、禁忌ではありませんが、検査台の上でカラダの向きを換えていただきますので極端に体調の悪い方や意思疎通のむずかしい方はこの検査は不向きです。心臓病・腎臓病・妊娠中または妊娠の可能性がある場合は必ず事前にお知らせ下さい。服用中のお薬がある場合は必ず医師にご相談ください。検査中、万が一気分が悪くなった場合はすぐにお知らせ下さい。

### 胃透視

上部消化管検査（胃透視）では検査前日の夕食以降絶食にてお願いいたします。当日は検査終了まで絶飲絶食でお願いします。

胃の検査では「ゲップ、せき、くしゃみ」を我慢してください。

検査後はどんどん「ゲップ」を出して下さい。

### 検査前

トイレを済ませてください

### 検査中

必要に応じて呼吸を止めていただきます

### 検査後

### 注腸

下部消化管検査（注腸）は検査のための食事をお出しします。この食事以外は食べないでください。水分は十分に取ってください。

大腸検査中は「オナラ」を我慢してください。

検査後はどんどん「オナラ」を出して下さい。

- ・検査前に胃腸の動きをおさえるために筋肉注射をする場合があります。この場合はのどが渇いたり、物が見えにくくなったりする場合があります。ほとんどの方は1時間以内に回復しますが、しばらくお休みいただき、車の運転をなさる場合には十分ご注意ください。
- ・検査終了後は造影剤（バリウム）を排泄させるため、水分（お茶、ジュース、水等）をいつもより多く飲んで下さい。水分摂取が少なかつた場合、バリウムが体内に残って腸が詰まる原因になります。お茶などを持参いただいても結構です。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。